



2025年1月10日

報道関係者 各位

中之条町・中之条町教育委員会と群馬大・伊藤研究室が継続協定
デジタルヘルス被害から子どもを守り育てる『デジタルシチズンシップ教育』
を推進する総合プロジェクト事業

群馬大学（群馬県前橋市）情報学部の伊藤研究室は、「アウトメディア活動」を実施している中之条町・中之条町教育委員会と「デジタルシチズンシップ教育・デジタルヘルス領域」のカリキュラム開発と検証を行うことで協力する連携事業に関する協定を改めて締結することとなり、群馬大学で締結式を行いますのでお知らせします。

同趣旨の「ご案内」が、中之条町からも同日に「ご案内」として発送されます。

1. 本件のポイント

- 両者により2022－2023年で実施した協定事業（前期事業）の成果を、新たな視点で展開する新事業（後期事業）。デジタルシチズンシップ教育・デジタルヘルス領域のカリキュラム開発
- 前期事業「情報モラル教育におけるネット健康被害の5階層のカリキュラム」の成果の概要
- 国際的な子どもに対するSNS規制、ネット依存傾向者の増加の現実に対応した保護者、特に乳幼児・小学校低学年の保護者や教師に対する啓発講演プログラムの開発
- 伊藤研究室と協力している研究団体から講師を派遣し講演・出前授業を行い、その実施・評価を、両者が協力して展開。
- 伊藤賢一教授が、科学研究費基盤研究（B）「不健全なインターネット利用発生メカニズムの探究と継続的啓発プログラムの開発と検証」（4年間）の助成を連続して獲得。その事業の一環
- 1月16日に群馬大学で締結式を開催する。

2. 本件の要点

子どものスマホ・ゲーム機・タブレット等の長時間使用、特にSNSと動画視聴によるネット被害、メンタル被害とネット依存は急増しています。国際的な動向としては、SNS規制、スマホの学校への持ち込みの禁止等規制で対応しています。理由を納得しない規制は、抑制効果や行動変容

に結びつきません。町としてSNSの禁止とゲーム等の利用時間の制限を保護者に働きかけてきた中之条町。2年間（前期事業）での科学的根拠を重視した検証出前授業、保護者啓発講演のカリキュラム評価を通して、その成果と課題が見えてきましたので、その一端を報告します。

新たな事業（後期事業）は、2028年から開始する新学習指導要領に取り入れられる「デジタルシチズンシップ教育」を批判的に組み替え、提案するためのカリキュラム開発です。

中之条町の多くの子ども達は、アメリカの富裕層が居住するシリコンバレーと同じネット環境で生活しています。そのことを、子ども達、保護者、住民が理解して頂ければ、と願っています。

3. 締結式開催概要

日 時：2025年1月16日（木）14：00～14：30

場 所：群馬大学荒牧キャンパス基幹棟中会議室

（前橋市荒牧町4-2、JR両毛線「前橋駅」からバスで28分）

【本件に関するお問合せ先】

群馬大学情報学部教授 伊藤賢一 TEL：027-220-7460

E-MAIL：ito_kenichi@gunma-u.ac.jp

■群馬大学情報学部副事務長 齋藤郁之 TEL：027-220-7402

E-MAIL：info-kouho@ml.gunma-u.ac.jp

■プロジェクト事務局長 青森大学客員教授 大谷良光 TEL：080-6054-6502

E-MAIL：ootani.net.risuku.ken@gmail.com